



切磋琢磨



御幸中学校
3年学年だより
令和5年11月8日(水)
第13号

grow up～つながりが咲かす 笑顔の花～



〔3年B組 編〕

B組 K. A

私は、文化祭で仲の良い友達と回れて楽しかったことと、合唱が心に残りました。プラ板や水引などいろいろ回れて良かったです。また、友達と楽しく回れたので、とても記憶に残った最高の思い出になりました。合唱も最優秀賞をとれたので、とても嬉しかったです。本当に思い出に残ることばかりだった中学校生活最後の文化祭になったので、大人になっても思い出すと思います。



B組 Y. T

係の準備からみんなで話し合ったりして楽しかった。本番ではいろんな所を回ったし、一芸で盛り上がった。みんなの笑顔がいろんなところで見られて、とても良い御幸中ができていたと思う。

B組 S. M

私は合唱コンクールの指揮者を通して、自分の意見をしっかり伝えることの大切さに気づきました。指揮者をするのは初めてではなかったので、また同じようにできようと思っていました。しかし、いざみんなと合わせてみると、ピアノとずれたり指揮を見てくれなかったりといろいろな問題があってとても悩みました。だけど、休憩時間などにパートリーダーや伴奏者と話し合いをしていろんな意見が出たので、それを練習の時にみんなに伝えました。すると、みんなに言ったところが改善されて、私は「自分の意見を伝えることは、自分の成長にもみんなの成長にもつながるのだな」と思いました。それからは、自分が思ったことを積極的に言ったり、みんなからの意見をしっかり聞いたりして、自分の指揮を見直しました。そのおかげで本番では最優秀賞を取ることができました。この合唱コンクールを通して、とても成長することができたので、それをこれからも生かしていきたいと思いました。公会堂でも頑張りたいです。

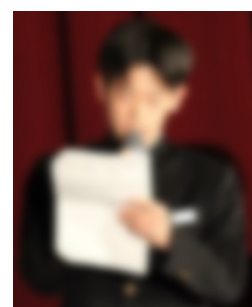


B組 K. K

最後の年ということもあって、運動会と同様に今までで最も力が入って楽しむことができたと思う。文化祭準備期間は学校内が期待感にあふれ、全校で一丸となって「文化祭を良いものにするぞ!!」という気持ちで取り組むことができた。文化祭当日は三年生が中心となって盛り上がるのができたと思う。そんな中でも、やはり合唱コンクールが一番心に残った。『天歌統一』を胸にみんなで絶対に良い歌を歌うことを目標に頑張ることができた。パートリーダーだけに任せるのではなく、一人一人が意見を出し合うこともできた。だからこそ本番は最高の歌を届けることができ、最優秀賞になれたのだと思う。間違いなく記憶に残る文化祭になった。

B組 K. T

僕は文化祭の全てが心に残りました。文化祭に司会として参加するのが初めてだったので、とても大変でした。なかでも劇は特に力を入れて作りました。また、最後の合唱コンクールで、最優秀賞を取れたのは一生心に残ると思います。そして、一芸の練習や本番も頑張りました。初めて一芸披露に出たけど、生徒会の仕事が終わった後もたくさん練習し、最高のものができあがったと思います。中学校最後の文化祭は前までと比べてとても大変なことばかりだったけど、新しいことにも挑戦できて、目標である「grow up」も達成できたのではないかなと思いました。みんなの笑顔やつながりの深さが見えてとても楽しい最高の文化祭になりました。



B組 H. S

僕が文化祭で心に残ったことは、一芸披露などのリハーサルと合唱コンクールです。リハーサルはする度に「良い文化祭にしよう」や「みんなが喜んでくれるといいな」などの気持ちが高まってきました。僕は体育館の2階のほうにいたのですが、みんなの笑い声や色とりどりのペンライトが見えて、自分も楽しい気持ちになり、自然と笑顔になりました。みんなの笑顔があふれる文化祭になって本当に良かったと思います。さらに合唱コンクールではたくさん練習した成果を十分に発揮し、最優秀賞をとることができました。合唱コンクールの結果を聞いたとき、飛び跳ねて喜びました。頑張って良かったなと心から思いました。僕たちは、公会堂で「手紙～拝啓十五の君へ～」を歌うことになっています。今の合唱に満足せずたくさん練習し、御幸中学校の代表として歌ってこようと思います。今回の文化祭は3年間で一番記憶に残るものになったと思います。みなさん、文化祭お疲れ様でした！



11月7日公会堂にて、御幸中学校の代表として、心を込めて歌ってきました！